

バイオテクノロジー標準化支援協会ジャーナル No.160

SABS Journal No. 160

発行日： 2025 年 6 月 20 日

URL： [バイオテクノロジー標準化支援協会ジャーナル \(sabsnpo.org\)](http://sabsnpo.org)

前号では、「急に暖かくなり、からっとした夏日が続き、今サツキが満開です。そしてアジサイの季節を迎えています」と書きました。6 月に入り都心では雨模様が続き、梅雨入りではという感じでしたが、14 日くらいから晴天が続き、今や毎日 30 度を超す猛暑となっていました。「もう梅雨明けか」というウワサが飛び交っているようです。天候に関して毎年‘前代未聞’が続くので、気象庁は未だ認めていませんが、「今年の梅雨はほぼ空梅雨でしかも超短期間ということになるかも」などと書いているうちに今日(6 月 20 日)は雨こそ降りませんが黒雲が西に現れたり少し涼しくなりました。数日後は梅雨が戻ると TV の天気予報が言っています。水源地には平年並みの雨が降ってくれるといいのですが。夏場の水不足が起こらないよう祈るばかりです。‘平年’と書いてしまいましたが、かなり前から平年という定義が変わりつつあります。確実に気候は変わりつつあります。そしてそれは‘指数級数的’な気温上昇です。来年は確実に今年より暑くなり、暑くなる事で起こる様々な地球上の変化が又気温の上昇につながるのです。

コメ不足と価格高騰が話題となっています。永い事やっている減反政策のせいなのか議論が沸騰していますが、実際の日本全国で毎年のコメ収穫量の統計が非常にいい加減だということが分かって来ました。備蓄米とやらが 5 年以上も昔のモノまで大量に残してあるとか、いろいろ不思議な事も判ってきたようです。多数の農業従事者の人口が国政選挙の大きな票田となっていた時代に出来た「農林族」という議員たちも話題です。気候変動も関係していることもあります。

前回の定例会では、国産ペニシリン開発史関連のお話を何回か伺ってきた神奈川工科大学名誉教授で現在は化学史学会会員としてご活躍中の松本邦男先生が新たに入手されたペニシリン委員会関連資料をもとに「陸軍軍医学校・ペニシリン委員会」という演題で再度ご登壇頂きました。内容については前号(159 号)に詳細に記述したので省略いたします。いづれ英訳して“医学と生物学“に投稿したいと考えています。お話の最後に中心となった稲垣克彦軍医少佐の四男の方が急死されたとのこと。三島在住の松本先生とも親交があって研究のための様々な情報を頂いていた方でした。次に父上の庭師松本豊吉氏が 1960 年(昭和 35 年)に、アメリカの日本大使館に茶室と日本庭園を造りに行きまたその年更にシアトルのワシントン大学植物園内に日本庭園を造りに行ったお話しが多数の貴重な写真とともに紹介されました。この日本庭園は、現在 **Seattle Japanese Garden** として、市民に親しまれています。この 1960 年という年は 1858 年(万延元年)に日米修好条約が結ばれて 100 年の記念事業の一環でした。

さて次回は、夏休み前の閉めの会として出席者の近況報告と、このジャーナルの発送など様々な事務をお願いしている本会若手の田中雅樹氏に最近手がけているオーディオ関係のお仕事を紹介して頂きます。標題は「アンビソニクスー球面調和関数展開に基づく音場の表現」です。筆者を含めオーディオに興味がある会員の人は多いのですが聞き慣れない術語なので少し調べてみました: “Ambisonics はリスナーの上下リージョンに加えて水平面もカバーするサラウンドサウンドテクニクです。B-format サウンドフィールド(音場)表現と球面調和関数を使い、スピーカー設定から独立しています。これを使うと、リスナーと共にサウンドを回しやすくなります。球体のサウンド表現が必要な場面、例えばアンビエントサウンドを提供する時や VR を展開する時などに、アンビソニクスが効果的な選択肢となります”ということでしたが分かりやすい説明を期待しています。

https://www.audiokinetic.com/ja/public-library/2024.1.5_8803/?source=Help&id=using_ambisonics

その他、最近気付いたいくつかの話題例:

1. アメリカザリガニ、台湾タニシなど繁殖力が強く被害が拡大している外来生物問題
2. iPS 細胞などを組織や臓器にするとき必要な枠 (Cell scaffold)
3. Dark protein NAT1 など

.

バイオテクノロジー標準化支援協会 (SABS) 第 131 回 定例会のお知らせ

日時: 2025 年 6 月 28 日(土) 13 時~17 時

場所: 八雲クラブ(東京都立大学同窓会) 渋谷区宇田川町 12-3 ニュー渋谷コーポラス 10 階

話題: 「アンビソニクスー球面調和関数展開に基づく音場の表現」、その他 最近の話題

演者: 田中雅樹氏

定例会会場八雲クラブへの道順:

渋谷駅ハチ公脇の大交差点を渡り、井の頭通りの坂道の右側を東急ハンズの看板を目指して登り、ハンズの手前で右手の急坂に入る。坂の途中で新しいパルコビルを上右に見ながら T 字路を左に曲がり坂道を登り切った所で左側に建つ高層マンションがニュー渋谷コーポラスです。入口の短い階段を降りエレベーターに乗り 10 階で降りると直ぐ左隣の部屋が八雲クラブです。

定例会は、原則として毎月第 4 土曜日に開催しています。7 月と 8 月、そして 11 月は休みで 12 月の会は原則として第 1 土曜日です。なお八雲クラブは他の催しの割り込みがあつて予定通り予約が取れない場合は第 4 土曜ではなく他の土曜となることがありますが、予めお知らせします。

なお今度の 5 月は第 5 土曜の 31 日、6 月は第 4 土曜の 28 日の予定で既に予約済みです。

バイオテクノロジー標準化支援協会 (SABS) は、故奥山典生先生(東京都立大学名誉教授)によって 2007 年に創立され、SABS ジャーナル第 1 号はその年の 10 月 11 日に発行されました [バイオテクノロジー標準化支援協会ジャーナル \(sabsnpa.org\)](http://sabsnpa.org) 以来、奥山先生は 2015 年

の第73号(5月17日発行)まで執筆されて居られました。先生はそのわずか2日後の5月19日、訪問先で倒れられ、救急搬送入院、6月13日には逝去されてしまいました。混乱の中、当時の理事たちで今後について話し合った結果、その年の6月19日には何とかジャーナル第74号をまとめることが出来ました。以後、本ジャーナルは引き続き定期的に発行され、今回は第159号となります。SABSジャーナルでは、奥山先生が様々な分野にわたる蘊蓄を毎号ご披露されて居られました。先生には全く及ぶべくもありませんが、現在は蘊蓄もどきの話題を筆者(檜山哲夫)が書いています。ぜひ読者の皆様からも蘊蓄などのご投稿をお待ちしています

thiyama@athena.ocn.ne.jp。

当協会のもう一つの大きなプロジェクトは学術雑誌「医学と生物学」の発行です。免疫学者緒方富雄博士が1942年に創刊した総合学術雑誌で戦後も継続発行されていましたが、2013年に休刊となりました。それ以来、奥山先生はこの雑誌の復刊に努力されて居られました。しかし残念ながらご存命中には実現は出来ませんでした。我々後継者は川崎博史理事を中心に努力し2018年にインターネットジャーナルとして復刊することが出来ました。下記ウェブで御覧になれます:

<https://medbiol.sabsnp.org/EJ3/index.php/MedBiol/issue/view/52>

6月9日に発行された最新号は**165** (No2) です: [165 巻 2 号 \(2025\) | 医学と生物学 \(Medicine and Biology\) \(sabsnp.org\)](#) 創刊号からの内容はウェブで表紙をクリックして内容の閲覧が出来ます: <https://medbiol.sabsnp.org/EJ3/index.php/MedBiol/issue/archive>

「医学と生物学」はオリジナルの研究報告論文の他、総説、解説、エッセイなども掲載しています。ぜひ皆様のご投稿をお待ちしています。

このSABSジャーナルは、バイオテクノロジー標準化支援協会(SABS)会員だけではなく、広い意味でのバイオテクノロジー関係の方々に配信しています。現在、このジャーナルを読んで下さる方々は600名近く居られます。多くの方が奥山先生の関係で、先生の広がった人脈に改めて驚いています。ぜひ読者の方々からも話題提供をして下さる方をお待ちしています。当SABSジャーナルのホームページ https://sabs.sabsnp.org/sabs_j/ ではジャーナルの最新号を含めたバックナンバーが収録してあります。またお知り合いの方でこのジャーナルを配信希望の方が居られましたら会員である必要はありませんので筆者のアドレス thiyama@athena.ocn.ne.jp に直接お知らせください。また配信停止、新規会員登録、アドレス等の登録情報変更等のご希望やウェブサイトに関するご意見もメールでお寄せください。

特定非営利活動法人バイオテクノロジー標準化支援協会

NPO Supporting Association for Biotechnology Standardization (SABS)

URL: <http://sabsnp.org>

理事: 荒尾 進介、小林 英三郎、田坂 勝芳、松坂 菊生、小川 哲朗、川崎 博史、檜山 哲夫

監事: 堀江 肇

ネット管理: 川崎 博史、田中 雅樹